

「樹脂積層造形装置」の使用例

3Dデータの撮影から造形終了までの手順をご紹介します

① スキャナーによる影撮



造形対象物のデータ化
※3Dデータがない場合でも造形が可能

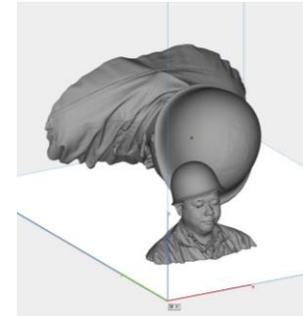


使用した
樹脂積層造形装置
FORMIGA P 110 Velocis
(EOS GmbH)

② 3Dデータの作成・配置



中空による軽量化
※強度向上のため、内部
構造の変更も可能



配置の調整
※造形時間短縮のため、
高さを最小化

③ 造形



造形直後（仕上げ
処理前）の胸像



完成した胸像